

8. 霊の結ぶ実は誠実

1. それゆえに理解しなさい。あなたの神である主は、ほんとうに神である。かれは、忠実な神である。かれは、かれの契約を、千の世代にわたって、守る。そして、かれの（ヘセドの愛）を気前よく与える。かれを愛して、かれの命令に従って行動する人々に。（申7:9、英語聖書・新リヴィング訳）

1.1. 忠実な (faithful) 神は、日本語の聖書では、つぎのようにいろいろと訳されています。信頼すべき神（共）、真実の神（口）、誠実な神（改）

1.2. 英語の、忠実な (faithful) とは。1 (夫・妻が) 貞節な：ていせつ、夫または妻が、夫として、または妻として、純潔を守って、妻または夫に・つくすこと。2 忠実：ちゅうじつ、心からまじめによくつくすこと。；忠実な信者たち / 支持者 / 会員。3 信義に厚い：しんぎ・に・あつい、信義とは、約束を守り、義務を果たすこと。

1.3. ヘブライ語の、ハ・エ・ハ・アーメンが、日本語の聖書では、真実の神、誠実な神、信頼すべき神として翻訳されています。翻訳者の苦闘がよみ取れます。

真実、しんじつ、うそいつわりのないほんとうのこと。まこと。；誠実、せいじつ、まじめで、まごころがこもっていること。

こうして読んできて分かることは、どうやら日本語の聖書の翻訳者たちは、無限の神と有限の人間とのあいだの『契約』のことなど、ちっとも考えてはいないような気がします。私たち、SDAの信徒にとっては、この契約の延長線上に「安息日を覚えて、これを聖とせよ。」という、十戒の第4条があることを知っています。それよりもなによりも、この、聖書の神の「契約」こそ、人間の幸福の基礎である、ことを、私たちは理解しています。

2. ミリアムが、モーセの妻にかこつけて、モーセを非難したとき、それに答えて、主なる神が、モーセのために、そうでは・ない、という証言をしました。も

ちろん、ミリアムがアロンと二人して、モーセを非難しました。民数記の11章にはいると「主が聞かれた」という語句が、さきの10章のあいだの「主が・・・仰せになった」に代わって、出てきます。

〔新改訳〕民12:7 しかしわたしのしもべモーセとはそうではない。彼はわたしの全家を通じて忠実な者である。

忠実な者 (faithful) は、ほかの訳では、「忠信なる者、信頼された者」です。ヘブライ語の聖書では、さらに分かりやすいのです。

かれは、アーメンの人です。

3. 少年サムエルはすくすくと育ち、主にも人々にも喜ばれる者となった。（サム上2:26、新共同訳）

この人生での成功、将来の人生を手に入れることの成功は、小さな事への忠実で良心的な気配りにあります。完全は、神の仕事のなかの、もっとも大きな事のなかと同じほどに、もっとも小さな事にも見られます。宇宙という空間のなかに世界をつるした、御手は、野原のゆりの花に優美で繊細な技能をもたらした、手です。神が、かれの領域で完全であるように、私たちは、私たちの範囲で完全であるべきです。力強く、美しい品性という、均整の取れた構造は、個人的な義務の行為のなかで築き上げられていきます。そして忠実さが、私たちの人生を特徴づけるものとなります。それは、人生の細部において、もっとも小さな事にも、もっとも大きな事においてでもです。（英文・父祖たちと預言者たち 574_4--5.）

4. 忠実で賢い・しもべとは、再臨の時のしるしを注意深く見張るばかりではなく、自分の個人的な責任として、まわりの人々に、再臨のキリストに出会う備えをうながす人です。「忠実で賢い僕は、いったいどれであろうか。」（マタ24:45）今期の副読本の主題の提示は、「忍耐してキリストの再臨を待つ」でした。

（ピリ1:6）キリストの再臨を熱心に待ち望む人には、主がその信仰をしっかりと支えてくださいます。なぜならば、私たちの主は忠実なる神である、からです。（1コリ1:8-9）